

2024年度事業計画書

自 2024年 4月 1日

至 2025年 3月31日

I. 事業の目的

当法人は国の社会的ニーズが高い大学理工学分野の学部学生および大学院生に対し、奨学支援を通して人材の育成を図るとともに、若手研究者の科学技術に関する研究開発の奨励および助成を行うことにより、わが国の工業の発展と産業における生産技術の振興を促すことを目的としています。

この目的を達成するため、日本全国において、次の事業を行います。

1) 奨学事業：

人物・学業ともに優秀で修学に支障のない健康を維持しながらも、経済的理由により修学が困難あるいは支障がある学部学生・大学院生に対する奨学金の給付および指導

2) 研究助成事業：

エネルギーおよび炭化水素有効利用に関連する分野に於ける技術開発・研究開発の奨励、調査研究の助成、科学技術に係る研究成果の普及に関する助成

II. 事業内容

1. 奨学事業

1) 採用計画： 2023年度と同じ指定12大学から新規奨学生として16名、継続奨学生として34名、合計50名の奨学生を採用します。（注1、注2）

また、2023年度から開始した博士後期課程（以下、博士課程と記載します）大学院生への支援を本年度と同内容で継続します。博士課程奨学生は若干名の採用とし、予算内である最大4名までの採用を見込んでいます。

注1) 大学別内訳は ○ページ添付資料の通りです

注2) 新規生と継続生の内訳は、奨学生への進路調査に基づく現時点での予定です。

合計50名採用は変更ありませんが、新規生と継続生の内訳は変更になることがあります

	<u>本年度計画</u>	<u>前年度実績</u>	<u>増 減 (一)</u>
前年度からの継続生	34名	25名	9名
本年度の新規採用生	16名	25名	－9名
<u>博士後期課程の奨学生</u>	<u>4名</u>	注2) <u>2名</u>	<u>2名</u>
合 計 注1)	54名	52名	2名

注1) 大学別内訳はXページ添付資料のとおりです

注2) 新規生と継続生の内訳は、奨学生への進路調査に基づく現時点での予定です。

合計50名採用は変更ありませんが、新規生と継続生の内訳は変更になることがあります

2) 奨学金給付予算額： 2023年度と同様、2,592万円（内、博士課程向け給付予算は192万円）とします。

給付基準： 月額 一人当たり4万円 年額 一人当たり48万円

給付総額： 年額 2,592万円（最大見込み）

3) 主要な活動計画（予定）：

2月19日 奨学生募集開始

4月22日 応募締切

5月13・14日 個別面談（原則は新規生と博士課程のみで対面とWEBの併用）

6月7日 奨学生選考委員会にて最終選考

6月7日 理事会にて採用決定

6月中旬 採用通知

6月～2月 月例会開催と奨学金の給付（原則毎月20日）

*地区毎に育成・相互交流のための行事を企画（2023年度テスト的に開催した合同月例会は2024年度は企画しない）

2025年3月上旬 卒業生合同送別会を開催

- (1) 奨学金を毎月手渡し（月例会席上または面談）で行い、就学や生活状況の確認やアドバイスをを行う
- (2) 月例会では大学での研究テーマの発表や身近な話題、時事問題などを話し合うなど、奨学生間の相互交流や自己啓発の機会を持つ
- (3) 各地区で奨学生育成・交流促進のための企画を年二回程度実施する
- (4) 奨学生交流WEBツール「奨学生のひろば」を活用して、OB/OGを含めた奨学会全体の情報共有や交流を促進する
- (5) 物価上昇などに伴う奨学金支給金額見直しの可能性、実現性を検討する

2. 研究助成事業

助成事業の仕組み、予算の規模、採択件数等の骨子につきましては従来とおりです。昨年度からの大きな変更としましては、応募件数の減少傾向に歯止めをかけることを主眼とした募集期間の拡大や推薦大学の応募数制限の廃止等があります。

募集期間は科研費申請のタイミングを考慮し、従来の6月末～8月末から5月中旬～9月中旬に拡大する計画です。

募集要項の骨子：

- 1) 助成対象者と助成目的：昨年度からの大きな変更は無く、指定14大学並びに財団評議員・理事・選考委員が推薦する大学（推薦大学）のエネルギー関係の研究

を行う大学および研究機関の博士号を有する若手研究者（教授は除く）を対象とし広く募集を行います。女性研究者への支援が重要であるとの財団の考え方を追記しています。

- 2) 募集対象：指定大学14校は従来とおり、また推薦大学の決定方法については、選考委員からの推薦および意見等を反映したものといたします。昨年度からの変更としましては、推薦大学の1校当りの応募件数制限を廃止致します。
- 3) 助成対象となる研究分野：募集要項の主旨については、前年度からの変更はありません。

基幹技術・先端（先進）技術を問わず以下の研究開発テーマ

(1) エネルギーに関連する次の分野

- ① エネルギー製造・輸送・貯蔵等に関する研究開発
- ② エネルギー利用効率化に関する研究開発
- ③ 代替エネルギーに関する研究開発
- ④ 環境保全や安全向上のための研究開発
- ⑤ エネルギー効率向上等に資する工業材料に関する研究開発

(2) 炭化水素有効利用に関連する次の分野（但し、医薬品関連を除く）

- ① 炭化水素誘導体およびその製造法に関わる研究開発
- ② 炭化水素をベースとする新素材の研究開発

注) 当財団は旧ゼネラル石油株式会社からの寄付により設立されたものですが、支援対象とする研究には石油精製や石油化学のような規模やこれらの産業に資することを必ずしも求めてはおりません。支援対象とする研究は学術的な成果が期待出来るものや、その時代の要請に応えるような技術開発研究等であり、脱炭素・低炭素を支える研究なども積極的に支援しています。

研究テーマの該当性については柔軟性をもって判断しています。過去に助成を受けた研究テーマを年度毎に纏めてHP上に掲載していますので、そちらも参考にしてください。

- 4) 情報の取扱い：昨年度からの変更は無く、募集要項および財団役員・選考委員等の就任承諾書に守秘義務を明記しています。

(1)応募の際提出の個人情報、技術・研究情報は、選考手続きのみに使用します。

- (2)助成決定後には、①氏名・所属機関名・職位、②研究課題名・内容、⑤助成金額、⑥研究成果報告、⑦財団主催の行事等で撮影された写真をHP上に掲載する以外には公開せず、またこれらの資料も財団の文書管理規程に則り厳重に管理し、所定の保存期間後には速やかに破棄します。
- (3)選考委員、事務局を含む全ての財団関係者は提出された情報について守秘義務を負っております。

5) 研究助成予算額：収益および奨学事業とのバランスを考慮し、前年度予算と同様の計画です。

- (1) 予算総額： 2,700万円 (前年度実績 2,690万円)
- (2) 助成件数： 18件～24件 (前年度実績 24件)
- (3) 助成額(1件当り)： 1件当り原則100万円
*特に優れた研究には増額を検討・支給します。(前年度最高150万円)
- (4) 助成期間： 1年間

6) 主要な活動計画 (予定) :

2024年	～5月 中旬	研究助成案件の募集開始
	9月 中旬	応募締切
	9月 下旬	第1次選考
	11月 下旬	第2次選考
	12月 中旬	選考委員会にて最終選考
	同上	理事会にて助成金受賞者決定、応募者へ結果通知
2025年	2月 中旬	研究助成金贈呈式を開催 (東京)

【参考】 理事会・評議員会開催予定：

1) 理事会 (決議事項等)

2024年	6月 7日	・2023年度 事業報告及び決算の審議	
		・2024年度 奨学生最終選考	
		・定時評議員会招集に関する決議	1
	12月 中旬	・2024年度 研究助成案件最終選考	
2025年	2月 中旬	・2025年度 事業計画・収支予算の審議	

2) 評議員会

2024年	6月21日	・2023年度 計算書類等の承認
		・2023年度 事業報告

以上

<添付資料>

奨学生採用計画 大学別内訳表

大学名	継続生				新規 奨学 生	2024 年度 合計	奨学生数の推移		
	学部 4年	修士 1年	修士 2年	計			2023 年度	2022 年度	2021 年度
北 大	0	0	0	0	3	3	3	3	3
東北大	0	1	3	4	1	5	5	5	5
東 大	1	1	3	5	0	5	5	5	5
東工大	0	0	3	3	2	5	5	5	5
横国大	0	0	3	3	1	4	4	4	4
早 大	1	1	2	4	0	4	4	4	4
慶 大	0	1	1	2	2	4	4	4	4
名工大	0	0	3	3	0	3	3	3	3
名 大	0	0	0	0	2	2	2	2	2
京 大	0	0	3	3	2	5	5	5	4
阪 大	0	0	3	3	2	5	5	5	5
九 大	0	0	4	4	1	5	5	5	5
合 計	2	4	28	34	16	50	50	50	49

(内、新規採用人数)

(25)

(31)

(20)

博士課程後期奨学生

2名

2名

4名

2名